一百零七員五

至十五員八五

至十七員七

七五至十七員

白袈裟山五群九至六帮

二至十三月

十五員

四員四

員

初月八辰庚次歲年六緒光

松八十八員五 員九 九 九 九 九 九 九 布賣員六七五 一員二五

二員二五三五 三至壹員 員八二五

(布二員三重三員三五) 布壹員七五 二員三五

員五六

員五二五 至三員三六 布二昌八至二員 布壹員七二五 員七七五

磅 斜 八八二五八八二五三員三八八二五三三人 一員四二五 長八五

號一零千二第 壹七五 員五至十壹員八

包 铒 47 什色閃 市六亳三五 宣員宣至壹貝零八

征 合

火火二中

緑籐火蔴

海中上正

石 白

白 五七

江燕 香 新川沙樹花 大何 康 魚 員至三十七員 一員零五 百員

哲成小組倫組組備組舊售美舊檀卡舊倫舊舊舊組舊倫組舊倫檀除小小組組組

金北呂約頓約約穀約金金路金香刺金敦金金金約金敦約金鎮香了呂呂約約約 机船帆船船船船帆帆舰舰帆帆帆船帆帆帆船帆船帆船帆船船船船 士勿魁連星威頓北巴士士裝 沙大刺力連 士

厘士퓨付孖 架升 歪付干蝶加巴路些 打 士丹厘 土厘士厘付士巴

士天

公火工貸公公船船公保保公公險公公銀年 司燭年然司司公公司險險司司公司司行每保中每每每司司每公公每每司每新每八 股險國股股每每股司司股股每股股股 現公朝本本本股股本每每收本股收收月 值司廷銀銀現現銀股股本銀收本本本價每貸九一十收收五收收銀五本銀銀銀初 世界 一百員現價值一千四百員 一百員現價值一千四百員 一百員現價值一千四百員 一百員現價值一千四百員 一百員現價值一千四百員 一百員現價值一千四百員 一百員現價值一千四百員 一百員現價值一千四百員 中本銀一百員現價值一千四百員 中本銀一百員現價值一千四百員 中本銀一百員現價值一千四百員 一百員每百現價值一千四百員 一百員每百現價值一千四百員 一百員每百現價值六十八員 一百員每百現價值六十八員 一百員每百現價值六十八員 一百員每百現價值六十八員 一百員每百現價值六十八員 一百員每百現價值六十八員 一百員每百月,價值六十八員 一百員每百月,價值六十八員 一百員每百月,價值六十八員 一十五磅現值未有定實 一十五磅現值十五磅現價值內十五磅 一十五磅現值十五磅現價值十五磅。

輪厘百朝酒煤火澳船火火保保拿保保上辰 船亞工廷店氣輪輪澳燭燭安險保險險海

於城二中香香上省黄中香華洋那中於香庚 仁多八國潛港海港埔華港商子千外仁心

呂

艾粉三百八十三負至三百八犀角公三千六百七十五員

員

半

五

週

價

銀 銀

每

價

二脉

東

現價值另溢魚七十員未定十五磅現價值未有定實

情。

旗科原料科科科科旗讓讓對廢架關科為嚴嚴認實際對對地解旗架米原料旗領昌古美古古古古古古昌昌昌古昌剛昌古古昌昌昌昌古古珍古昌则也美古昌昌泽洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋洋

京

環

外境地遼潤道路 守在在均難玩忽然敵易出沒防 民心聯級志者從可知矣能狹以仁則民不忍去而捍衛固於干城能爭以信則民不忍欺而召號捷於雷雨線人家國事者將欲轉論以爲福易危以爲安甚不容以不察也民心聯級志者從可知矣能狹以仁則民不忍去而捍傷固於干城能爭以信則民不忍欺而召號捷格不養貧富紹納嗜利怨聽反歸朝廷也然則比例參觀凡所以固其民况外則强敵有欲逞之心內則奸民有證動之意而顧谟然不察信任檢佞之徒伸其矯誣預詐藉端以行其朘削肆其威福珋噫夫亦先自擾焉已耳是故汴宋之陷非則又惟期全軀命保妻子而於敵之知為猖獗民之何爲怨懟並不少櫻其愿而系其心則雖邊鄙不築檢無驚而天怒人怨禍變之與必不免矣夫太平無事尚不可虐待信任而作惡者以謝其民深自咎責悉改前愆而民具有天良亦將感邀蹶起相與捐頂糜踵以狗國家之急而雲君父之恥也惟自以位高望重始終剛愎自用及事不可虐待與至於潰敗而不可收拾也歷觀前事彰彰可考足爲寒心而身居民上者養尊處餐竟若耳無所聞目無所賭及至敵騎深入招募鄉民島其同仇敵懷而民反不應甚且作果去,則需為國然而不自吏役又從中澤肥而噬多方訛詐必便富破家食亡命而後已爲趙不計犯衆怒取衆憎徼而成鉅鹿之形視官如仇甘心從賊而事勢决家之福而生民之幸耶獨嘗谁原其故中國軍務或與所有兵士之往來糧械之機運悉向所經州縣取辦供給州縣及無數學別人而發票簽差傳拘小民當此工役陸則需騰矣至於拘集船戶運載疾士而义着海面船艘悉堅庶賴以示分則則在香嶌亦偶見之此雖好事者所爲直非省憲本意然敵尚未至而官民之間業已浮動如是夫豈國縣交至於拘集船戶運載疾士而义者海面船艘悉堅庶賴以示分則則在香嶌亦偶見之此雖好事者所爲直非省憲本意然敵尚未至而官民之間業已浮動如是夫豈國

號八月九年十八百八千壺歷西

光紅六年八月初一體目事宜

庚辰八

場合が、大きな、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、

無不至此固前此之所未有開闢以來所特創爲儒生者須放開眼孔擴遠識量 等之儒生之權乃竟勝於帝王也哉是又可發一噱矣此正由坐誤讀孔子春秋 帶之儒生之權乃竟勝於帝王也哉是又可發一噱矣此正由坐誤讀孔子春秋 中國而抗衡者何限必欲視之盡出中國下不幾近於夜耶自大魁即如歐洲諸 權自操有是理乎夷狄雖大曰子此乃指王朝封爵所及者耳必舉整教所未對 權自操有是理乎夷狄雖大曰子此乃指王朝封爵所及者耳必舉整教所未對 權自操有是理乎夷狄雖大曰子此乃指王朝封爵所及者耳必舉整教所未對 權自操有是理乎夷狄雖大曰子此乃指王朝封爵所及者耳必舉整教所未對 不不至此固前此之所未有開闢以來所特創爲儒生者須放開眼孔擴遠識量 一個國稱謂不同一中國儒者無不尊己卑人輒謂名器不可假人其意蓋欲嚴由 四國稱謂不同一中國儒者無不尊己卑人輒謂名器不可假人其意蓋欲嚴由

訊

司酬有情私

宋呂小往前船火

及者於八月初五日禮拜四正4十二 大七包十八號七包十號廿二旬廿二號 七包二十四號七包廿號廿二旬廿二號 七包二十四號七旬又二十八號洋紗 一百出清 貴客看貨議價下搥之後若 時辰年八月初五日禮拜四正4十二號 大大包十號出旬明貨倉有十六號沖紗 一個二十四號七旬又二十八號洋紗 一個二十四號七旬以二十八號洋紗 一個二十四號十旬黃紙燈屋 一個二十四號十旬黃紙燈屋

投

人則神謹啟

臺 船者請

胃

行貨水前期船

請 開 期 一 兹 一 兹 斯 期 伊 斯 初 少 年 新 前 的 数 本 行 四 名 有 一 和 行 四 看 一 和 行 四 看 一

八面者客上正門月歲所欲海午準

本格安至期意行船南初八隻

者客倫住初了請欲願星六加

面船貴能前

有火

船

壹 取

駁者

証碍難成쀓命梁文覓保人署券五十圓保三個

月名初

請公本

二波甯

七月

六

本昌本

七歳

月

埠南安往前船火 七光本塔 工其亦宜 藥 三日 可勸 也儒

此收嗣 聲明 支 至 謹以於 免日乾人業乾點十後後泰承原姓號五 乾彩與 論乾隆受將號來錦號

行股百

件行

支行本物業記營

數匯項別與人

等倘受明

記號

山金舊往前船火

行倫

香港 事件不 事件不 事 等 等 等 等 等 等 等 等 定 行 员 因 者 印王紫詮先生 月 到或無附 貴年 尊 來館

1 喜支結或变本狀師亦可如遲自悞謹以前開單間大馬路德明齋樓上李天以前開單間大馬路德明齋樓上李天上,以前開單間大馬路德明齊樓上李天上, 兩者請早日麥李天喜手收如李九欠票請泉憲恩準承辦凡有欠到李九銀。京師泉憲恩準承辦凡有欠到李九銀原與親兄李大喜承辦管理現李天喜,以日業已身故遺下屬書將產業銀兩 本局所 白 华 快 事 來 務總局取 亦必送 賁 佈 買 達

级日 行搭如庇行八船 等頓倫波架星往 貨無一由倫川諸開者 **丛古洋行取** 华等濱橫戸 前親八月十四日晨早郎一百湖八月十四日晨早郎一百湖八月十四日晨早郎一百湖大湖大湖大湖大湖 日本三菱火輪船公司謹取 5金山者每一位唐人取回安連南北亞美利加各埠歐年八月二十青日下午三點 四日晨早取行人州名彌吉打 不強優物 **厘近省**

H

唐 印普 玉採印 有辛 月份 齊字 牌 諮

與理賬月全齊南際 明概目升於同北海記典揭五頂彩貨傍 (以義堂人無沙)

狀

師布理頓或活頓預取平

後歸

亦 七

政务譚同善堂于四月十五 南錢選青三人同伴做上海 時後以什物一應承受自四月 一 時增加安記字標並太古南 上洋一棧並未有別準問語 上洋一棧並未有別準問語 上洋一棧並未有別準問語 上海太古南後公司 上海太古南後公司 上海太古南後公司 上海太古南後公司 上海太古南後公司 上海太古南後公司 上海太古南 妥自不必受五發承與原用可後日東頂 受項泉今長交棧泉

積一此個和效思 正香 寶院店個食壓廳美他 店埠在煙銀功入味不 荷賜所價及分一險者

實行貴埠

厦 德 費二年利地家 廣傳神參之十四物道各 德並倘茸需六月濟藥有 堂分蒙衞踰初開人料不 生則九有爲精同 非製堂 國

顧有甚貨語千已光調規相倉香萬地

頓緒至矩宜等港員數司行六本亦倘貨承專十向

動者骨若

車復銀

皇包補有口鑲正能習家其以若內牙音立四

水修金天半之及除醫

得館謹痛生無係學醫

其北均

然齒法電世鑲

[] 即 與 有保衡些廻路刀 限險面路華仁思

聞許之爭土輪

日此每三

步

公

告

約一洋日船司仁

间其銀本平事廼

用餘一非发務

厄辰十往許班甚諧路在

一特則銀波保凡險理

相埠

保

險

知險以月收分止月啟

紙後初銀算全宣者

寫到二每凡年號本

明買日百各所起公

若振聞員

燕光干梳派送寶之一將

梳緒交者至囘行息千一

行六來不期花及派八千

等往

佈圓分埠中各限思

移宜煤消昌門者

炭常和

玉諧發有行六營

光價好寫五四

國

溢至司

顧甚各永號海

公路 嚴

華

保有刀

安福旁啟

牌西

股者本公司監姻通火 探波厦門福洲上海等 将客起見供搭客之用始 中設唐人買辦以司監姻 里足以供搭客之用始 上之便也及往客之用始 小年正月十一日 泰號面議是實此佈 本 大緒六年正月十一日 水厥常

街貴語今清貨堅能 南客棲特水物 禪庚銀保圓立價請些 十光泰岛蘭 Sign Sign 恰四緒路行至員 公正五朋給士相對海香 日五內左中将個各本 司月仙等间星宜照面港取十十半月架另面保 年此便聪思甚维启 随王正佈街海颐相谋 槽傍 者 宜製

取要月 售亦為銀者延梯年 足座痛可讀問潛生科以自而以鏡問思乃之 相壯一深補牙殼細匹技 再者遠曾歷者醫續可近經洞術學 惠幷副 有均 能其能楊數達擅由鑲鍊立名載其精來 請固 牙效凡矣微純更 補 斯牙加法牙遏屡是咸須 常用有一蒙以皆奥 藥成用補枯埠環舞師

术一樹以爛諸百業士

發體膠金折君步多党

玉新

道君陸

江欲

巷 賜 口 顧

九如地續備

明清

名大比勝有日家政清圖日

不要清

李本文無史一本活水地一體為東

唐堂

太古洋

行

題取

實主此寫商報厘者此以為來化本 佈商沽運樓買各 今 行 爱 來 面 者 等 已 現 價 必 之 議 必 和 到 有 以與鴻所口有均乙底石 光落要木價要木港夾緒部本別方請一由板 行人為到載罅船 年能到不作本如英名 借者俱法初清開物牌 等鴻歸追經楚張全二 弊昌新收手所至盤百 年俱號承日代有庚頂一 月是欠理亦計本 月堂鴻 問街與必欠息底承昌 初與外鴻要數股止受魚 本數昌照銀份所此翅號目舊敗一老有乃店 日無分伴再千本港大今 干戛無派三等省家各 鴻不倘涉不百均申允件 得有日得四已漢肯志 告藉意後私十接湘無圖 端外生為兩股潭得別 爭來意肥正本等 執歷典己此照埠言愿

油

庚特銀客火上兹

辰此甚時水好有

年佈相下油雜新

聞宜價發壁到

有按房 貨 己步銀有利常德敬卯面兩物息有昌敬 日 年商請業相銀質 二八是移宴宜出秋中

孟月荷玉揭丹揭印環 受 後任七新利啟 光佈舊秀 聞人以生由月義約者
死前意湯初利載沈 理家沈衍新湯坦置 清賬黃川義錦左 楚項秀二利祥右扒 與會無人船孫今龍新項涉管交彷他仔 承數倘理易川志船 新攺清二圖 買目 義字楚人別隻 等

諸脫難全磁理婦醫 之分剛开發內 零君即價錄以售外痛七賜可極囘金膏方牙 氏號教不相保或丹脈痍 請痛宜其銀丸並牙 扁館如牙咬膠效教切

年辦拘之紅各囘百八 房早日銀貴各八百 啟鑲移以妙堅或散奇疳 人六作脱請二客股十七 月爲及至十惡東年十 謹二實禮本五顧老四 賣 出宇屋叚 過保収七實二號 及有銀出揭如有買地及 及有銀出揭如有買地及 以有銀出揭如有買地及 以可携妥當地紙到本寫 等樓揭銀如有要買屋等 場內業出賣如合意者 大方可到來面議並有中 中國皇后大道第六 大方等 大方子。 大方子。 大道第十 上等新聞紙價其紙 出售現有新聞者本館常有 者相 前宜等 請來面議此 貴客欲用 到

印務總局謹取 月緒 初九日 五 年 售 及者本館所到日本各種書籍

一次

一次< 循環日

客 發 器 漆 廣和祥謹取

保火蘭 司

由

百步梯中華印粉總局駁 三月初六日

日謹啟

售